



「川原町提灯」を新調

新調した川原町提灯について柴橋正直市長に説明する桑原善吉会長
(右)＝岐阜市湊町、十八楼

住民団体、CFで資金調達

11日に長良川鵜飼が開幕するのを前に、岐阜市の鵜飼観覧船乗り場近くの川原町一帯でまちづくりに取り組む住民団体「川原町まちづくり会」は、鵜飼シーズン中に飾る提灯「川原町提灯」を新調した。7日には市内で、関係者向けのお披露目を開いた。

2010年に鵜飼の様子などを描いたオリジナルの提灯を企画。軒先に飾って風情ある町並みを演出してきた。風雨で傷み、在庫が少なくなる中で、クラウドファンディング(C

「ぎふ川原町」浮かぶ揮毫

F)による資金調達は昨年夏に実施。93人から221万5千円が集まり、当初目標額の100万円を上回った。さらに岐阜商工会議所と十六地域振興財団、岐阜信用金庫の寄付も活用し、387個を製造した。

提灯の絵柄に変更はないが、柴橋正直市長が揮毫した「ぎふ川原町」の文字が新たに入った。住民ら98軒に配り、順次新品に交換する予定。同市湊町の十八楼であつたお披露目会で、桑原善吉会長は「支援をいただいた皆さまにお礼を申し上げます。これからも風情ある川原町の維持・発展に力を入れたい」と、関係者に感謝の気持ちを伝えた。(青山和史)